

こんなとき どうする?

●●●主な防災気象情報●●●

区分と発表のタイミング	注意報	天災の起こるおそれがある場合
	警報	重大な災害の起こるおそれがある場合
	土砂災害警戒警報	大雨が降り続いたことにより、土砂災害の起こるおそれがある場合
	特別警報	数十年に1度の大地震が起これば予想される場合

●●●避難に関する情報●●●

区分と発令時の行動

避難準備・高齢者等避難開始

いつでも避難ができるよう準備を開始する。
・高齢者等の避難に時間を要する人は避難を開始する。

避難勧告

避難場所へ避難を開始する。
・避難が難しいときは、近隣又は屋内の安全な場所(浸水や土砂災害の恐れのない場所や高層階など)へ避難するなど、速やかに命を守る行動をとる。

避難指示(緊急)

直ちに避難を完了する。
・避難が難しいときは、近隣又は屋内の安全な場所(浸水や土砂災害の恐れのない場所や高層階など)へ避難するなど、速やかに命を守る行動をとる。

↓

緊急度

※地形や状況によっては避難する必要がない場合もあります。平時から身のまわりの自然災害ごとの危険性を把握しておき、状況に応じて避難の必要性を判断しましょう。

1 身を守る 地震発生



グラツときたら...

家や建物の中では?

- 安全な場所にすばやく移動
- クッションなどで頭を守る
- できる範囲で火の始末をする
- あわてて、外に飛び出さない



路上では?

- 看板や瓦などの落下物から頭を守る
- 塀や自販機から離れる
- その場に立ち止まらず、頭を保護して、空き地や公園へ避難する



危険な所から離れる

エレベーターの中では?

- 行き先ボタンを全部押す
- 閉じ込められたときは、「非常用呼び出しボタン」等で外と連絡をとる



落ち着いてあわてない

車の運転中は?

- ハザードランプを点滅させて、徐々に減速し、道路左側に停車する
- キーをつけたままロックせずに徒歩で避難する
- カーラジオで情報を得る



電車等の車内では?

- つり革や手すりに両手でつかまる
- 係員の指示にしたがい落ち着いて行動する



迅速に行動

2 状況確認 ゆれがおさまったら

落ち着いて、周囲の状況を確認する

- ドア・窓を開けて出口を確保する
- ケガをしないように、靴やスリッパを履く
- 家族の安全を確認する
- 火の始末、火が出ていたら初期消火をする
- 自宅を点検、倒壊のおそれがあれば避難する

3 正しい情報入手 落ち着いたら

正確な情報入手し隣近所で助け合う

- テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を確認する
- デマに惑わされない
- 隣近所に声をかけ、無事を確認する
- 隣近所で協力し、消火、ケガ人の救出・救護にあたる



4 落ち着いて移動するとき

安全に気をつけて、避難や帰宅をする

- 緊急車両の通行を妨げないよう、車は使用しない
- 自宅から避難する場合は、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る
- ゆとりがあれば防犯のために戸締りをして自宅を出る
- 自分の行き先がわかるようにメモを残すなどする
- 避難すべきか冷静に判断する
- 都市部で公共交通機関が停止した場合、周囲の安全が確認されてから移動(帰宅など)する

豪雨や台風にあったら...



豪雨や台風がくる前に...

- 家の周りの点検をする
※点検のポイント
・外壁や屋根、塀などにひび、ずれ、破損などはないか?
・雨どいや側溝、排水溝はつまっていないか?
- 物干し竿、植木鉢、自転車など風でとばされやすいものを室内に入れる
- 浸水のおそれのある場所では、食料品・衣類・寝具を高い場所に移動させる
- 浴槽に水をはるなど、生活用水を確保する

風水害時のポイント 土砂災害の危険信号

- テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報に注意、積極的に情報を収集する
- 安全に避難できるうちに、自主的に避難する
- 増水した川や崖の下など危険な場所には近づかない
- 土砂災害の危険があるときはすぐに避難する

- ① 地面にひび割れができる
- ② 木の裂ける音がある
- ③ 山鳴りがする
- ④ 沢や井戸の水が濁る
- ⑤ 川の流が濁り、流木が混じりはじめる
- ⑥ 川をゴロゴロと石が流れる音がある
- ⑦ 小石がバラバラと落ちてくる
- ⑧ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ⑨ 斜面から水が噴き出す

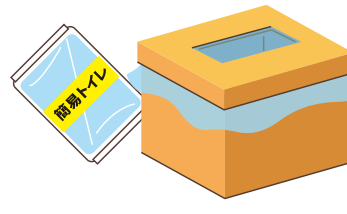


風水害時に避難するとき

- ① 運動靴で避難する
※長靴は中に水が入ると歩きにくくなります。
- ② 非常持出品は背負うなどして両手は自由に
- ③ 隣近所で声をかけあい、歩いて避難する
- ④ 足元に注意
※水の中は、溝や水路など危険がいっぱい。長い棒を杖替わりにするのも◎
- ⑤ 万一避難が遅れたら、安全な建物の高所で助けを待つ

《豆知識》トイレ

災害時には、トイレの問題が深刻。簡易トイレを備えておく、いざというとき役立ちます。簡易トイレもない場合は、ポリ袋の中にしわくちゃにした新聞紙を入れて代用することができます。



災害に備えて!

家族で防災について話し合い、あなただけの虎の巻を完成させてください。



裏表紙

正確な災害情報入手する

豊田市の災害情報等をお届けします

テレビ・ラジオ

- ひまわりネットワーク
 - ひまわり12(地上12ch)
 - 生活情報チャンネル(CATV126ch)
- エフエムとよた[ラジオ・ラビート]78.6MHz

メール

- エリアメール・緊急速報メール
市内にある携帯電話(対応機種)へメールを配信します
- 緊急メールとよた
事前に登録されたメールアドレスに緊急情報や気象情報を配信します



インターネット

- 豊田市ホームページ
<http://www.city.toyota.aichi.jp/>
- 携帯電話版ホームページ
<http://mobile.city.toyota.aichi.jp/>

防災行政無線

災害時には音声とサイレンで緊急情報をお知らせします。

防災テレホンサービス

- 防災行政無線で放送した内容を電話で確認することができます。
- 0120-34-0174(通話料無料)
- 0565-37-3530(通話料有料)

非常持出品・備蓄品を用意する

- 避難するときに持ち出す必要最小限の「非常持出品」と、自宅で生活するための「備蓄品」を分けて用意する
- どこに置くか、なにを備えるか、家族で話しあう
- 定期的の中身を点検。衣服など季節に合わせた物に食料の賞味期限も確認する



非常持出品

- 避難する時に持ち出す最小限の必需品
- リュックなどにいれておく
- 実際に持出せる量にする(男性15kg、女性10kgが目安)

備蓄品

- 避難した後に一時的に自宅に戻れた時に避難場所ですぐ使ったり、自宅で過ごす時に使うもの
- 最低3日分、できれば7日分用意
- キッチン、車庫、物置、ベランダなど取り出しやすい場所に置く
- 普段使う食材を多めに常備しておく、古い順に使ったらまた補充する「ランニングストック」

非常持ち出し品リスト

品名	点検日	チェック
<input type="checkbox"/> ティッシュ・除菌シート		
<input type="checkbox"/> タオル		
<input type="checkbox"/> ボンチョ		
<input type="checkbox"/> マスク		
<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器		
<input type="checkbox"/> 印かん		
<input type="checkbox"/> 現金(停電時に公衆電話で使用する10円、100円硬貨含む)		
<input type="checkbox"/> 止血するもの		
<input type="checkbox"/> 懐中電灯		
<input type="checkbox"/> ライター		
<input type="checkbox"/> 下着・手袋		
<input type="checkbox"/> ラジオ		
<input type="checkbox"/> 食品(すぐに食べられるもの)		
<input type="checkbox"/> ヘルメット		
<input type="checkbox"/> 電池		
<input type="checkbox"/> 飲料水		
<input type="checkbox"/> 眼鏡・コンタクトレンズ		

備蓄品リスト

品名	点検日	チェック
<input type="checkbox"/> ウォータータンク		
<input type="checkbox"/> カセットコンロ		
<input type="checkbox"/> カセットガス		
<input type="checkbox"/> 調理用水		
<input type="checkbox"/> 生活用水		
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットル)		
<input type="checkbox"/> 食料(アルファ化米・缶詰・レトルト食品・栄養補助食品・お菓子等)		
<input type="checkbox"/> 缶切り		
<input type="checkbox"/> 毛布		
<input type="checkbox"/> 衣類		
<input type="checkbox"/> ろうそく		
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ		
<input type="checkbox"/> 菌除きシート		
<input type="checkbox"/> ウェットタオル		
<input type="checkbox"/> 抗菌・消臭剤		
<input type="checkbox"/> 救急セット		
<input type="checkbox"/> 掃除用具(ほうき、ちりとり)		
<input type="checkbox"/> 生理用品		

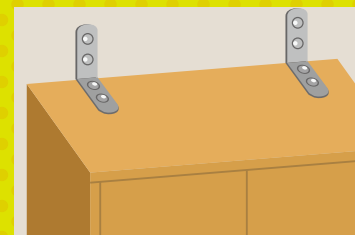
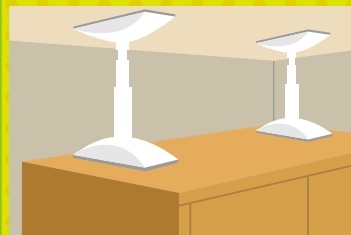
出典:愛知県 『防災・減災備しガイド』

こんなものも必要です

- 赤ちゃんのいる家族
離乳食・粉ミルク・加熱調理器具・消毒用品・紙おむつ・おしりふき・使いすてカイロ(保温用)
- 持病のある方、高齢者の方
常備薬・主治医連絡先
持病薬メモ(お薬手帳のコピーなど)つえ・ホイッスル
- ペットのいる家庭
動物病院連絡先・リード・ケージ・ペット用食品・排泄用品・名札

家具を固定する

- できるだけ、家具や落下しやすいものを置かない
※寝室や子ども部屋は特に安全に
- それぞれの住環境に見合った方法で家具を固定し、転倒・落下を防ぐ(例えば)
 - ・キャスター付きなどの家具は車輪の移動防止措置をする
 - ・窓や家具に使われているガラスは割れた時のために飛散防止対策をする
 - ・食器棚などの扉は、中身が飛び出さないように固定をする
- 家具の配置を工夫し、万一倒れても、避難できるようにする

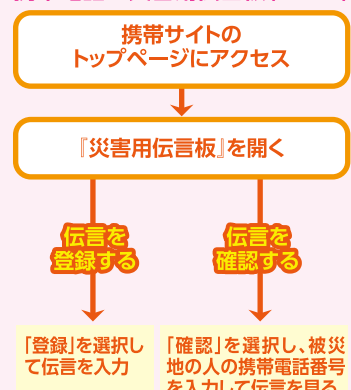


豆知識 「100円ショップ」

100円ショップでも、防災お役立ちグッズを購入することができます。家具を固定する粘着ジェルや、ガラス飛散防止のフィルム。他にも、スリッパや呼子笛、電池、ビニール袋やラップなどもあります。一度のぞいてみてはどうでしょうか?

災害時の連絡手段を確認する

携帯電話の災害用伝言板(メール)



災害用伝言ダイヤル「171」



- ▶携帯電話やパソコンのメールを利用する
・通話よりもつながりやすい
- ▶公衆電話を利用する
・災害時にも発信規制を受けない
- ▶遠隔地に連絡中継点をつくる
・被災地から被災地外への電話は比較的にかかりやすい
- ▶SNSを活用する

SNSって…?

「twitter」や「LINE」、 「Facebook」のようなSNS(ソーシャルネットサービス)は、サイトを通じて情報のやり取りが出来るサービスです。情報交換や安否確認の手段として活用出来ます。

※事前に家族と離れ離れになった場合の連絡方法、集合場所を決めておきましょう

家族で確認しながら書き込む

●家族との連絡方法

① _____

② _____

③ _____

●家族の集合場所

●身近な避難場所①

場所 _____

●身近な避難場所②

場所 _____

わたしのきろく

本人氏名 _____

住所 _____

携帯電話 _____

生年月日 _____ 血液型 _____

持病/アレルギー/常備薬 _____

健康保険番号 _____

かかりつけの病院など _____

かぞくのきろく

氏名 _____ 男・女 _____

携帯電話 _____

メールアドレス _____

職業・学校 _____

生年月日 _____ 血液型 _____

氏名 _____ 男・女 _____

携帯電話 _____

メールアドレス _____

職業・学校 _____

生年月日 _____ 血液型 _____

氏名 _____ 男・女 _____

携帯電話 _____

メールアドレス _____

職業・学校 _____

生年月日 _____ 血液型 _____

表紙
別85×54貼り

防災 虎の巻

緊急連絡先

火事・救急119 警察110

名称	電話番号
豊田市役所	0565 - 31 - 1212
消防署	- -
警察署	- -
ガス	- -
電気	- -
水道	- -
病院	- -

メ モ